

**特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会 第9期通常総会
議事次第**

2014年9月13日(土) 13:30~14:30

於 北沢タウンホール第2集会室

1. 開会(司会:櫻博子)

2. 理事長挨拶:清水善和

3. 総会成立の確認(報告:奥野玉紀)

下記の通り、出席および委任状の提出が過半数に達し、当総会が成立したことを確認。

	返信あり		返信なし	計
	出席	欠席・委任状		
正会員	9	53	32	94
比率	9.6%	56.4%	34.0%	100%

4. 議長の選出:理事長の清水を選出

5. 議事録署名人の選出:理事の櫻博子および奥野玉紀を選出

6. 議事:事務局長の奥野より報告

- 6.1. 第1号議案:第9期(2013年7月1日~2014年6月30日)事業報告および収支報告
- 6.2. 第2号議案:第10期(2014年7月1日~2015年6月30日)事業計画および収支予算

軽微な語句の修正を行った上で、第1号、第2号議案共に、満場一致で承認された。

7. 質疑等

8. 閉会

以上

【総会特別企画】 14:30~16:15

◆チャールズ・ダーウィン研究所設立50周年記念講演会

ガラパゴスからの便り「ゾウガメ、キミはどこから来たの？」

【2014年7月22日 於 国立科学博物館日本館講堂】

チャールズ・ダーウィン財団理事長 スウェン・ロレンツ氏講演ビデオ上映

★スウェン・ロレンツ氏略歴

ドイツ出身。金融および経営という異色のバックグラウンドを持ち、これまでに、資産運用、出版、IT、財産管理、消費財(consumer goods)などの複数の会社設立に携わり、成功を収める。

2006年より、ガラパゴス諸島を守る活動に深く関わるようになり、2011年、ガラパゴス諸島で最も歴史ある諸島最大の民間保全機関、チャールズ・ダーウィン財団の理事長(現職)に就任。ガラパゴス保全のための科学研究施設「チャールズ・ダーウィン研究所」の運営に責任を持つ立場となる。半世紀以上の歴史を持つチャールズ・ダーウィン財団の、史上最年少の最高運営責任者でもある。

第9期（2013年7月1日～2014年6月30日）事業報告

第9期の事業報告は、以下のとおりである。

※「担当」＝担当理事（但し事務局長を兼ねる奥野は全ての事業を担当したため、表記を割愛）。

※「協力」は主に会員の方を記載。その他多数のボランティア等協力者が関わった。

(1) ガラパゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業
<p>① 第9回ガラパゴス体験学習ツアー：企画・広報したが、参加者が最低催行人数に達せずやむなく中止。企画内容、広報の方法、日程の取り方などを抜本的に見直す必要あり。担当：波形</p> <p>② ガラパゴス国立公園への写真使用許可代理申請：ガラパゴスの写真を使用した日本の公的発行物用（10月23日発行）協力：柴田一輝さん、赤間亜紀さん、Rosemary A.さん、Micaela S.さん、他。</p> <p>③ 「ガラパゴスの魅力」講演（10月1日、3日、25日）ワールド航空サービス社からの依頼。講師：清水・真板。ガラパゴスに興味のある方向けに、ガラパゴスの魅力やエコツーリズム等について各回1時間程度講演。（参加者計60名ほど）</p> <p>④ ガラパゴスカレンダー2014の制作・頒布：400部印刷。11月下旬より発送開始。販売152部、会員配布180部、CDF（ダーウィン財団）寄附20部、Galapagos Conservancy（会員が写真を提供）送付15部、その他支援者へ贈呈。支援をお願いする際に持参/送付。写真提供：GC会員、北澤哲弥さん、伴浩治さん、伴未来子さん、波形理事。担当：西原、波形</p> <p>⑤ ガラパゴス出身の学生 Micaela Solis さん関連イベント開催：新座市国際交流サロンセミナー（12月14日）、清真学園高校（茨城）セミナー及び高校生との交流（12月16日）、東大研究室訪問（12月17日）およびセミナー。協力：十文字秀行さん、他多数、担当：櫻・清水</p> <p>⑥ 「第1回高校生の島嶼科学交流会」@清真学園（12月25日）参加。国内外の島嶼地域を対象に研修等を行うSSH（科学教育強化校）の高校生が集まり成果等を発表。協力：十文字秀行さん、森英章さん</p> <p>⑦ 「エコツーリズム」第二版翻訳。原書「Ecotourism and sustainable development」。担当：海津</p> <p>⑧ 2014年7月のチャールズ・ダーウィン財団理事長来日イベントの企画（実施は2014年7月22～24日）。国立科学博物館、恩賜上野動物園、エクアドル大使館、経団連自然保護協議会、BESS フォレストクラブ、IWC シャフハウゼン、および通訳との打合せ等。担当：櫻、清水</p> <p>⑨ その他、出版関係からの取材等、対応。</p>
(2) ガラパゴスに関連する情報の収集および提供に係る事業
<p>① インディアナ大学電話取材：日本のNGOのラテンアメリカ地域における活動に関する調査に協力。調査結果から、当該地域に進出している企業ほど、同地域で活動するNGOへの支援に興味を示したとのこと。</p> <p>② エコツーリズム成功事例調査：日本エコツーリズム協会（JES）より依頼の、環境省から委託された調査に協力。ガラパゴスのエコツーリズムの仕組みについて、調査してまとめ提出（3月25日）。→JAGAウェブサイトで公開予定。協力：柴田一輝さん、波形理事</p> <p>③ ABC放送取材協力：「ビーバップ・ハイヒール課外授業・ガラパゴスSP」（3月30日放送、2時間番組）：取材打合せおよび編集協力、情報・写真提供。</p> <p>④ ABC放送出演：「ビーバップ・ハイヒール」（4月3日放送）、コメンテーターとして理事の真板が出演。→出演料は真板の申し出で当会の収入となった。</p> <p>⑤ NHK総合「世界遺産ドリーム対決！地球・生命の輝き 神秘の海 vs. 驚異の陸」（5月5日放送）イグアナについて、情報提供。エンドロールに「日本ガラパゴスの会」。</p> <p>⑥ NHK番組取材協力、企画アドバイス等。協力：柴田一輝さん</p> <p>⑦ SNSによる情報発信：Facebook、twitterによるガラパゴスに関する情報の発信。世界のガラパゴス保全に関わる機関からの発信をシェアしたり、独自記事を発行し、計88記事を発信した。</p> <p>⑧ 会報の制作・発行：第18号（12月）、19号（5月）。担当：伊藤</p> <p>⑨ JAGAウェブサイトリニューアル作業（オープンは2014年7月18日）。ガラパゴスの旅行情報を増やした。更新を自分でできるシステムを導入し、タイムリーな更新が可能になった。写真協力：会員多数。</p>

第9期（2013年7月1日～2014年6月30日）事業報告

<p>⑩ メールニュースの発行：第50～53号。サイトやFacebookの更新を案内。</p> <p>⑪ 「ガラパゴス化」への対応：「脱ガラパゴス」等、ガラパゴスを価値の低いものとする表現については、掲載メディアに意見の申し入れを行った。担当：清水</p> <p>⑫ その他、テレビ局などメディア対応随時。※1月のグアヤキルにおける日本人夫婦襲撃事件では、テレビ局からの取材と出演依頼があったが、ガラパゴスと直接関係ないため、情報提供のみ。</p>
<p>(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業</p> <p>特になし。</p>
<p>(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業</p> <p>① サンクリストバル島での5年間の「ネイティブ・ガーデン・プロジェクト」が終了し、新たなプロジェクト1年目。フロリアナ島における「ネイティブ・ガーデニング、森林再生、および農業支援」プロジェクトを、BESS フォレストクラブと共に支援した。乾燥した場所でも苗を育て、地面に定着させることができる、欧州から導入された種苗育成最新技術「ウォーターボックス」を使って、住民150人ほどのフロリアナ島で、庭の植物や森林再生用の苗、農作物を育てる試み。外来種の侵入機会の削減、在来の植物で構成される森林の再生、島民生活の自立を促すのが目的で、ウォーターボックスが非常に良く機能することが分かったため、次年度も規模を拡大して、島全体の生態系再生のために継続することになった。</p> <p>② 2009年から支援を続けている「プロジェクト・フロリアナ」では、a)フロリアナマネシツグミの再導入 b)植生の再生を支援した。a)については属島にいる生き残りについて調査し、本島に再導入する際の場所の選定と外来種の駆除を行い、再導入目前となっている。今後の実施についてはガラパゴス国立公園が主体となって行うこととなった。b)については、①のプロジェクトと合同で、ウォーターボックスを使って、植生再生のための植樹と島民の農業支援を行った。今後は植生再生および農業用の苗生産のプロジェクトを「ガラパゴス・ベルデ 2050」（ベルデ＝緑）と名付けて統合し、実施することとなった。</p> <p>◇フロリアナ島の保全是、ガラパゴス保全の「モデル」となる重要なプロジェクトで、実施するチャールズ・ダーウィン財団では、今後も慎重かつ重点的に行いたいとしている。</p> <p>③その他の支援：・JAGA カレンダーをダーウィン財団に寄贈、研究所の売店で販売（20部）。・経団連自然保護基金の助成申請作業および事業報告作業の援助。・その他の助成機関や基金との連絡や確認など。・日本国内の助成金事情について調査しダーウィン財団に報告、今後機会を見て申請する。</p>
<p>(5) ガラパゴスに関連する国際協力に係る事業</p> <p>※ガラパゴスと小笠原の交流事業を計画したが、実行に至らなかった。</p>
<p>(6) ガラパゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業</p> <p>チャールズ・ダーウィン財団（研究所）の国際ボランティアスタッフとして働く奥村友佳子さん（会員）の滞在準備に協力。2014年8月より研究所に滞在して研究活動を行っている。今後も支援を継続。</p>
<p>(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業</p> <p>※2013年度内にCDFに送金を行ったが、成果報告が2014年度となるため、2014年度の会計に算入。</p>
<p>(8) その他、本会の目的を達成する上で必要な事業</p> <p>・NPOの運営セミナー参加：資金集め（ファンドレイジング）のための手法を学び、一部は実行。</p> <p>・日本財団の「CANPAN」、日本NPOセンターの「NPOひるば」等のNGOデータベースへの登録、メルマガ購読（情報収集）。その他、クラウドファンディングへの登録などを行った。</p>



「ウォーターボックス」の仕組みを説明した図



ウォーターボックスを使って苗を育てるスタッフ

平成25年度(第9期:2013年7月1日~2014年6月30日)活動計算書

特定非営利活動法人日本ガラバゴスの会

科目	金額	備考
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	¥345,000	54名、うち複数年払14名
その他会員受取会費	¥347,000	38名、複数年払い5名、学生3名、団体2
計	¥692,000	
2 受取寄付金		
寄付	¥40,000	会員より
エコポイント助成金	¥20,792	住宅エコポイント
計	¥60,792	
3 受取民間助成金		
BESSフォレストクラブ	¥2,000,000	前年度入金分・今年度事業分
4 事業収入		
普及啓発事業	¥455,723	カレンダー頒布、ガラバゴス国立公園許諾申請、講演料など
情報提供事業	¥122,913	写真提供、書籍・雑誌監修料など
計	¥578,636	
5 その他収益		
受取利息	¥629	銀行利息
経常収益計	¥3,332,057	
II 経常費用		
1 事業費		
(1) ガラバゴスに関連する環境教育及び普及啓発に係る事業		
印刷費	¥372,960	カレンダー印刷費
交通費	¥55,430	ボランティア、ゲスト交通費
資料費	¥7,851	普及活動用書籍等資料購入費
資料作成費	¥18,300	ガラバゴス国立公園許諾申請(代理申請)
ガラバゴス国立公園許諾費	¥104,938	ガラバゴスコンテンツの商用利用への許可料
通信費	¥10,324	カレンダー送付等
インターネット費	¥2,000	ネット決済サービス料(2013年7月解約済)
広告宣伝費	¥3,193	Facebookを利用した広報代
消耗品費	¥3,093	カレンダー送付用封筒、ビニールシート等
会議費	¥2,569	ボランティアミーティング会議室使用料、等
計	¥580,658	
(2) ガラバゴスに関連する情報の収集及び提供に係る事業		
インターネット費	¥142,800	サーバー代(未払い分含む)、サイト管理費
通信費	¥4,841	会報郵送料等
資料費	¥1,659	参考文献等購入費
印刷費	¥21,580	会報印刷(2号分)
計	¥170,880	
(3) 生態系等の環境問題全般に関する情報の収集及び提供に係る事業		
(4) ガラバゴスにおける環境保全活動の実施及び支援に係る事業		
BESS支援事業	¥1,916,112	ネイティブ・ガーデン、森林再生、農業支援事業(\$20,000)
プロジェクト・フロレアナ	¥110,253	エコポイント寄附+カレンダー寄附(\$1,100)
計	¥2,026,365	
(5) ガラバゴスに関連する国際協力に係る事業		
(6) ガラバゴスに関連する調査研究の実施、支援、及び研究者の支援に係る事業		
(7) ガラバゴスに関連する諸機関の運営又は活動に関する連絡、助言、援助に係る事業		
事業費計	¥2,777,903	
2 管理費		
(1)人件費 役員報酬等	¥0	
(2)その他経費		
シェアオフィス利用費	¥98,800	ワンストップビジネスセンター青山 年間利用料
事務局管理費	¥250,000	事務局業務の委託費
什器備品費	¥0	
通信費	¥81,011	会員への郵送、事務局電話使用料など
情報収集費	¥12,000	NPO運営セミナー等参加費
消耗品費	¥3,612	印刷用紙、ラベル、インクなど
事務手続き費	¥28,478	ネットバンク手数料、印紙代
交通費	¥32,442	事務局交通費(打合せ等)
会議費	¥15,120	総会会場費等
印刷費	¥900	資料コピー代など
管理費計	¥522,363	
経常費用計	¥3,300,266	
当期経常増減額	¥31,791	
当期正味財産増減額	¥31,791	
前期繰越正味財産額	¥3,879,387	
次期繰越正味財産額	¥3,911,178	

平成25年度 計算書の注記

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

2.事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	(1)環境教育 普及啓発事	(2)情報提供 収集事業	(4)保全支援 事業	事業部門計	管理部門計	合計
I 経常収益						
1.受取会費	140,000	50,000	0	190,000	502,000	692,000
2.受取寄附金			60,792	60,792		60,792
3.受取助成金等			2,000,000	2,000,000		2,000,000
4.事業収益	455,723	122,913		578,636		578,636
5.その他収益					629	629
経常収益計	595,723	172,913	2,060,792	2,829,428	502,629	3,332,057
II 経常費用						
(1) 人件費						
現地スタッフ給付金			2,026,365	2,026,365		2,026,365
(2) その他経費						
業務委託費					250,000	250,000
通信費	10,324	4,841		15,165	81,011	96,176
交通費	55,430			55,430	32,442	87,872
印刷制作費	372,960	21,580		394,540	900	395,440
インターネット費	5,193	142,800		147,993		147,993
会議費	2,569			2,569	15,120	17,689
資料費	7,851	1,659		9,510	12,000	21,510
オフィス利用料					98,800	98,800
消耗品・備品費	3,093			3,093	3,612	6,705
手続き費等	123,238			123,238	28,478	151,716
経常費用計	580,658	170,880	2,026,365	2,777,903	522,363	3,300,266
(事業別)当期経常増減額	15,065	2,033	34,427	51,525	-19,734	31,791

3.使途が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は3,911,178円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ガラパゴスにおける環境保全支援事業 エコポイント寄付金	0	20,792	20,792	0	エコポイント事務局より20,792円の寄附を受け、全額を対象事業に使いました。
BESSフォレストクラブ 支援協賛金	0	2,000,000	2,000,000	0	環境保全事業支援協賛金としてBESSフォレストクラブより交付を受けた200万円の全額を、対象事業に使用しました。

4.役員及びその近親者との取引内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	うち、役員及び近親者との取引	
(活動計算書)			
事業収入	578,636	78,000	※カレンダー購入
普及啓発事業費 管理費	142,800	127,050	※インターネット関連管理費、サーバー借用料等
事務局管理費	250,000	250,000	※奥野への事務局業務委託
活動計算書計	971,436	455,050	

第9期(2013年7月1日～2014年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計貸借対照表

2014年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	3,759,609	
前払金(BESSフォレストクラブ助成金)	2,073,469	
前払金(シェアオフィス利用料)	88,100	
流動資産合計		5,921,178
2 固定資産		
土地	0	
建物	0	
車両運搬具	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,921,178
II 負債の部		
1 流動負債		
前受会費	10,000	
前受助成金(BESSフォレストクラブ)	2,000,000	
流動負債合計		2,010,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		2,010,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,879,387
当期正味財産増減額		31,791
正味財産合計		3,911,178
負債及び正味財産合計		5,921,178

第9期(2013年7月1日～2014年6月30日) 特定非営利活動に係る事業 会計財産目録

2014年6月30日現在

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	74,739	
普通預金 みずほ銀行青山支店	2,212,912	
普通預金 三井住友銀行渋谷駅前支店	133,937	
郵便振替口座 ゆうちょ銀行	791,800	
ジャパンネット銀行	546,221	
前払金(BESSフォレストクラブ助成金)	2,073,469	
前払金(シェアオフィス利用料)	88,100	
流動資産合計		5,921,178
2 固定資産		
土地 所在 m ²	0	
建物 所在 m ²	0	
車両運搬具 乗用車 台	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,921,178
II 負債の部		
1 流動負債		
前受会費	10,000	
前受助成金(BESSフォレストクラブ)	2,000,000	
流動負債合計		2,010,000
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
固定負債合計		0
負債合計		2,010,000
正味財産		3,911,178

第 10 期（2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日）事業計画・予算

第 10 期（2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日）の事業方針及び事業計画は、以下のとおりである。

(1)環境教育・普及啓発事業

ガラパゴスの自然や生きものの世界を分かりやすく伝え、保全に関心を持ってもらう。

- ・ ツアーの企画：参加者が集まり難いため、共同企画や企画協力、旅行社との提携などに切り替え企画する。
- ・ 講演会の開催（終了）：チャールズ・ダーウィン財団理事長来日に伴い、国立科学博物館（7/22）および経団連自然保護協議会（7/23）にて講演会を行った。共催：科博、恩賜上野動物園 後援：エクアドル大使館
- ・ その他講演（講師派遣）：ワールド航空サービス社でガラパゴスに興味のある方向けに講演を予定、他。
- ・ 出版物への原稿執筆や翻訳、監修など随時。
- ・ JAGA 設立 10 周年記念事業：日本とガラパゴスの交流史まとめ。日本にいるガラパゴスゾウガメの遺伝子解析。ガラパゴスへ行ったことのある著名人へのインタビュー&掲載などを予定。10 周年記念事業であるため、資金が十分集まらない場合は資産（繰越金）の一部を交流史の編纂や発行に充てることも視野に入れる。ダーウィンのガラパゴス上陸 180 周年に合わせた普及活動については、10 周年事業と併せて計画を立てる。
- ・ パンフレットの制作および配布・配架。
- ・ カレンダーの制作／頒布：会員や役員から募った写真を使用して製作する。インターネットを活用して頒布。昨年購入者等には早期に見本なしで案内を出し、注文を受ける。ファンドレイジングツール、営業ツールとしても活用する。毎年の継続が必要のため、固定の大量注文者（企業や団体）を発掘、確保するよう努める。

(2)情報収集提供事業

正しい情報を的確に提供する。

- ・ ホームページのリニューアルオープン（7 月 18 日オープン済）。
- ・ ホームページを充実させる。特に旅行情報ページについては、様々な企業や団体などに相互リンクを貼りやすいため、双方および読者にとってメリットとなるページを作るよう工夫する。子供向けコンテンツを制作。
- ・ Facebook、twitter、メールニュース、ブログ、会報などを使った情報発信と、ホームページへの情報の集約を図る。IT ツールについては、特に you tube（動画）を活用した情報発信を行う。
- ・ テレビ番組への取材・編集協力、監修など、随時。当会サイトでの実績の掲載は必ず行う。
- ・ マスコミや個別の問い合わせへの対応、情報・写真提供など、随時。

(3)環境問題全般情報収集提供事業

特に予定なし。

(4)ガラパゴスの環境保全活動の支援

現地のニーズを把握し、ニーズに応えられるよう支援を行う。ガラパゴスにおける最大の課題である外来種問題については、居住区からの侵入防止、保護区での拡散防止および駆除について支援を行う。住民の自立支援については、外来種削減や島民への環境教育の観点からも、今後益々重点が置かれる見込みである。

- ・ フロレアナ島における保全の支援：マネシツグミ保護保全（場合によっては域外繁殖）、ネイティブ・ガーデン・プロジェクト、森林再生（保護区）とサステナブル農業（居住区）支援。

(5)国際協力事業

ガラパゴスと日本（特に小笠原）の人的、技術的交流を行うための下地を作る。※計画が具体化すれば助成金を申請する。

(6)調査研究支援事業

2014 年 8 月よりダーウィン研究所でボランティアで研究活動を行っている JAGA 会員に支援・協力する。

(7)現地諸機関の運営支援事業

- ・ チャールズ・ダーウィン財団運営支援（研究所の行う保全活動のマネジメントを支援）。特に研究所のニーズ（研究機器など）を把握し、日本企業に自社製品提供などの支援をお願いする。

(8)その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

- ・ 企業への働きかけを強化する。ガラパゴスに進出している日本企業、および旅行代理店に対して、保全支援に協力をお願いする。同時に企業のメリットも提案する。
- ・ NPO の運営セミナー参加：資金集め（ファンドレイジング）や組織運営について、基礎から学ぶ。
- ・ インターネットを活用した、広報、ファンドレイジング、普及啓発活動などを行うために、そのスキルを持ったボランティア（プロボノ）を募集する。またはそのスキルを習得する。

平成26年度 活動予算書

第10期(2014年7月1日から2015年6月30日まで)

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会

科目	金額	備考
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	300,000	60人
協力会員受取会費	350,000	40人+3団体
計	650,000	
2. 受取寄付金		
受取寄付金(個人)	200,000	
エコポイント寄付金	20,000	住宅エコポイントのみ
企業からの寄付金・協賛金	2,000,000	記念事業のための資金集めによる
計	2,220,000	
3. 受取民間助成金		
受取民間助成金	2,000,000	BESSフォレストクラブ支援協賛金
その他助成金	1,000,000	日本とガラパゴスの交流事業に助成金申請予定
計	3,000,000	
4. 事業収益		
普及啓発事業	500,000	カレンダー頒布、講演料、記念事業収入、など
情報提供事業	200,000	テレビ・出版事業
計	700,000	
5. その他収益		
受取利息	500	銀行利息
経常収益計	6,570,500	
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) ガラパゴスに関連する環境教育・普及啓発事業		
通信費	20,000	カレンダーなどの郵送代
印刷費	400,000	カレンダー制作、パンフレット印刷など
交通費	50,000	ボランティアや演者の交通費
資料作成費	1,000,000	記念事業「ガラパゴスと日本の交流史」製作費用
広報費	10,000	SNSを使った広報など
計	1,480,000	
(2) ガラパゴスに関連する情報収集提供事業		
通信費	10,000	
資料費	20,000	情報収集のための資料購入費
印刷費	50,000	会報等印刷代
会議費	20,000	打合せ会議室使用料など
交通費	20,000	ボランティアの活動用
インターネット費	350,000	ホームページ制作代、サーバー代等
計	470,000	
(3) 環境問題全般に関する情報収集提供事業		
その他	0	
(4) ガラパゴスにおける環境保全活動の支援事業		
BESS支援事業	2,100,000	BESSフォレストクラブとの共同支援事業
プロジェクト・フロレアナ	150,000	エコポイント支援事業、およびカレンダー売上一部寄附
計	2,250,000	
(5) ガラパゴスに関連する国際協力事業		
交流事業	1,000,000	日本とガラパゴスの交流事業(助成金が採択された場合)
(6) ガラパゴスに関連する調査研究関連支援事業		
その他	0	
(7) ガラパゴスに関連する諸機関の運営支援事業		
ダーウィン財団運営費支援	300,000	その他、現物寄附もあり。
事業費計	5,500,000	
2. 管理費		
(1) 人件費 役員報酬等	0	
(2) その他経費		
シェアオフィス利用費	100,000	ワンストップビジネスセンター青山 年間利用料
事務局管理費	700,000	業務委託費
什器備品費	30,000	タブレット等、通信端末の購入を予定
通信費	90,000	郵送代、電話使用料、など
情報収集費	40,000	セミナー等参加費
消耗品費	10,000	用紙、ラベル、インクなど
事務手続き費	30,000	銀行振込手数料、ネットバンク利用料等
NPO保険費	10,000	
交通費	30,000	事務局交通費
会議費	20,000	総会・理事会会場費等
印刷費	10,000	総会資料、年会費更新資料等印刷
その他予備費	500	
管理費計	1,070,500	
経常費用計	6,570,500	
当期正味財産増減額	0	
前期繰越正味財産額	3,911,178	
次期繰越正味財産額	3,911,178	